別紙

守谷市議場システム等更新業務公募型プロポーザル　審査基準表

企画提案書の共通記載事項

提案システムの全体像を確認するため、次の事項を記載すること。なお、本項目は独立して採点せず、各審査項目の評価に用いる。

・システム全体構成図
・主要機器及びソフトウェアの一覧
・新設機器、既設再利用機器及び他システムとの接続関係
・ネットワーク構成及び外部・他システムとの接続・責任分界
・セキュリティ対策
・提案システムの特徴

No.	区分	審査項目		着眼点	提案書の指定記載事項	配点
1	全体	**基本方針**	課題理解・提案方針	・本市における現行設備や議場等現場の状況及び本業務の目的を踏まえ、安定稼働、障害時の議会継続、職員の運用負担及び長期保守を重視した提案方針となっているか ・提案方針と具体的な設備構成、障害対策及び保守計画との間に一貫性があるか	・提案の基本方針 ・提案において特に重視する事項	5
2	業務経歴	**実施体制 スケジュール**	体制・工程 ・品質管理	・本業務の遂行に必要な知識及び経験を有する責任者・技術者が配置されているか ・設計、機器調達、施工、設定、試験、研修及び初期運用支援の役割分担並びに市との責任分界が明確か ・定例月議会、その他の市議会日程に支障を与えない実現可能な工程か ・機器の納期遅延、施工遅延又は試験不合格が発生した場合の対応が具体的か ・設計レビュー、施工確認、設定確認及び受入試験前の自主検査等、品質確保の方法が具体的か ・本番稼働前に、主要機能、機器間連携、障害時の代替運用及び復旧操作等を確認するための受入試験について、具体的な試験方法が提案されているか	・業務実施体制表（様式５） ・各担当者の役割、資格、類似業務経験（様式５） ・実施工程表 ・遅延又は問題発生時のエスカレーション ・品質管理・自主検査の方法 ・受入試験の実施方針・試験方法	5
3		**実績**	導入・保守実績	・参加資格として求める実績を満たすことを前提として、同等規模以上の議場システムについて、導入・保守実績を有し、その実績が本業務の安定的な履行に有効と認められるか	・発注者、業務名、契約期間（様式４） ・システム規模・主要機能 ・障害対応又は安定運用上の取組	5
4	導入設備・システム	**操作性**	議会運営操作	仕様書に示すシステム操作の要件を満たした上で、一人での議会運営操作を前提として、画面構成、操作手順、状態確認、誤操作防止及び緊急時の代替操作等について、職員の操作負担軽減及び効率的かつ確実な議会運営に資する具体的かつ有効な工夫がなされているか	―	5
5		**会議ユニット**	発言・採決・交換性	仕様書に示す会議ユニットの要件を満たした上で、発言者にとっての操作性・視認性、仮設席への対応、機器の着脱・交換の容易性及び個別機器の障害による影響の抑制について、具体的かつ有効な工夫がなされているか	―	5
6		**音響・映像**	品質・配置・連携	仕様書に示す音響・映像設備の要件を満たした上で、音声の明瞭性、ハウリング抑制、撮影・表示品質、映像切替及び既設設備・議会中継システムとの連携等について、本会議の円滑な運営及び映像配信の質向上に資する具体的かつ有効な工夫がなされているか	―	5
7		**電子採決 情報表示**	電子採決 音声字幕 サイネージ等	仕様書に示す電子採決、音声字幕、デジタルサイネージ及び登退庁表示の要件を満たした上で、議員・職員にとっての操作性に加え、傍聴者及び来庁者にとっての視認性・分かりやすさ、市職員による設定・運用の容易性等について、具体的かつ有効な工夫がなされているか	―	5
8		**信頼性・保守性**	平常時・設計上の耐障害性	・単一機器の故障がシステム全体に波及しない構成となっているか ・音響、録音、映像、電子採決、音声字幕、サイネージ及び登退庁表示の設備間で、障害の影響が分離されているか ・障害箇所の特定、切離し、交換及び設定復元を容易に行えるか ・設定情報のバックアップ及び復元方法が具体的か ・電源、停電・復電、放熱、配線及びラック内配置への対策が妥当か ・主要機器の保証期間、修理対応期間、部品供給予定期間及びサポート期間が明確か ・専用機器又は独自仕様を採用する場合に、その必要性及び将来の更新・保守への影響が明確か ・既設再利用機器の状態、保守可能性及び責任分界が明確か	―	10

No.	区分	審査項目		着眼点	提案書の指定記載事項	配点
9	保守・事業継続性	**事業継続**	障害発生直後の 業務継続性	・主要機器の障害時に、停止する機能及び継続できる機能が明確か ・制御用パソコン又はタッチパネルの停止時に、会議音声の拡声、主要なマイクの操作及び録音を継続又は速やかに再開できるか ・主録音系統の停止時に、主録音とは異なる機器又は経路によりバックアップ録音を確保できるか ・カメラ、電子採決又は音声字幕設備の停止時に、他の音響・録音・配信機能を継続できるか ・予備機、代替機又は手動運用への切替方法が具体的か ・市職員が、特別な技術知識を要せず、簡易マニュアルに基づき切替操作を行えるか ・提案する代替運用について、受入試験等で確認できるか	ー	10
10		**障害対応**	障害受付後の 復旧対応	・障害の重要度に応じた対応区分及び対応フローが明確か ・障害受付方法、受付時間及び一次応答の目標時間が明確か ・電話、リモート及び現地対応による切り分け方法が具体的か ・本会議開催中又は開催直前の重大障害について、優先対応の体制があるか ・現地対応の判断基準及び現地復旧着手の目標時間に実現性があるか ・メーカー及び他システム事業者へのエスカレーション経路が明確か ・代替機の手配方法及び提供までの目安が明確か ・障害報告、原因分析、恒久対策及び再発防止の方法が具体的か	ー	10
11		**保守**	平常時の 保守サービス	・保証終了後に本市が別途契約することを想定した保守内容が具体的か ・定例会前点検、定期点検、現地点検及びリモート点検の内容・回数が明確か　※リモート点検は提案する場合のみ ・マイク、録音、映像、電子採決、音声字幕、サイネージ、登退庁表示、配線等の点検範囲が明確か ・問い合わせ、操作支援、設定変更、ソフトウェア及びファームウェア更新の取扱いが明確か ・保守対象・対象外並びに部品費、出張費及び代替機費用の包含範囲が明確か ・既設再利用機器、議会中継システムとの責任分界が明確か ・保守契約終了又は保守事業者変更時の資料・設定情報・履歴等の引継ぎ方法が具体的か	ー	10
12	価格評価	**価格評価**	構築	価格点 ＝ 最低提案価格 ÷ 当該提案者の提案価格 × 15点	ー	15
13		**価格評価**	ライフサイクル コスト・費用透明性	・市が指定する共通条件に基づき算定され、他提案との比較が可能か ・保守対象・対象外及び追加費用となる事項が明確か ・主要機器の更新時期、ライセンス等、将来的に発生し得る費用が明確か ・長期運用費を抑制する具体策があるか	ー	5
14	その他	**発展的提案**	市に有益な提案	仕様書及び各審査項目に示す事項以外に、事業者の専門的知見又は導入・運用実績を踏まえた提案があり、その内容が故障抑制、議会継続、職員の操作負担軽減、議会運営の効率化又は市民サービス向上に具体的な効果を有するか	ー	5
合計						**100**